

議案第 8 5 号

羽生市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

第 1 条 羽生市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例（昭和 3 9 年条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正前部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- （ 1 ） 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- （ 2 ） 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。
- （ 3 ） 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改 正 後	改 正 前
<p style="text-align: center;">（ 期 末 手 当 ）</p> <p>第 4 条 （ 略 ）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在において、給料の月額に 1 0 0 分の 2 0 を乗じて得た額の合計額に <u>1 0 0 分の 2 0 2 . 5</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">（ 1 ） ～ （ 4 ） （ 略 ）</p>	<p style="text-align: center;">（ 期 末 手 当 ）</p> <p>第 4 条 （ 略 ）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在において、給料の月額に 1 0 0 分の 2 0 を乗じて得た額の合計額に <u>1 0 0 分の 2 1 7 . 5</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">（ 1 ） ～ （ 4 ） （ 略 ）</p>

第 2 条 羽生市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正前部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- （ 1 ） 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在すると

きは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。

(2) 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。

(3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(期末手当) 第4条 (略) 2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在において、給料の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に<u>100分の210</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 (1)～(4) (略)</p>	<p>(期末手当) 第4条 (略) 2 期末手当の額は、それぞれ前項の基準日現在において、給料の月額に100分の20を乗じて得た額の合計額に<u>100分の202.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 (1)～(4) (略)</p>

附 則

この条例中第1条の規定は令和3年12月1日から、第2条の規定は令和4年4月1日から施行する。

令和3年11月25日提出

埼玉県羽生市長 河 田 晃 明